

# 日本の復興とTHKの貢献

## 東日本大震災からの復興を期して

本年3月11日は、日本国にとって悲劇的な1日となりました。震災や津波により、多くの方々が亡くなられ、行方不明となっております。被害に遭われた皆様には心からのお悔やみとお見舞いを申し上げます。

しかしながら私は、一方でこの被災地の状況を見て、日本人の素晴らしさを再認識させられました。このような過酷な環境の中であって、多くの被災者が、秩序を保ち、弱い者を助け、且つ優先し、不平不満を見せず、冷静に行動されている姿を見て、畏敬の念さえ抱き感激いたしました。

このような雄々しく誇り高い日本人の姿を目の当りにし、私は、被災地は必ずや復興を遂げ、日本国も遠からずこの国難を乗り越え、さらなる成長を続けることであろうとの確信を抱きました。

## THKの震災対応

THKでも、震災による被害は受けたものの、このような未曾有の大震災にあって、その被害の程度は幸にも軽微でありました。震災直後から本社災害対策本部への情報集約と、被害の無かった工場等からの支援体制は、私の指揮の下、迅速かつ漏れなくなされ、期日を置かずして復旧を果たすことができました。従業員の安全は確認されましたが、自宅が被災したりご親族を亡くされたりした方もいらっしゃいましたが、逆境の中で工場復旧に努めていただき、お客様にご迷惑を掛けることなく供給責任を果たすことができました。

また、営業拠点にあっても、ご家族も含めて震災対応に迅速に対処していただき、間断なく営業活動が継続できました。私は、THKの一致団結した復旧活動に深く感銘を受けるとともに、皆さんの努力に改めて感謝申し上げたいと思います。

## 日本の復興に向けて

今回の大震災により、東日本各県の被害は甚大なものとなり、復旧にも多額の国費と時間が必要となることでしょう。加えて原子力発電所の事故処理問題や地域の放射能汚染の解決が、大きな負担となってまいります。しかし、一国民としても、また企業人としても、日本国の早期復活にできる限りの貢献をしてまいりたいと強く望んでおります。

このためには、THK全体で、電力不足への対応、サプライチェーンの改善、BCP(事業継続計画)の再検討を急ぎ、生産活動を通じた日本経済への貢献を実現していきたいと思っております。当社が、如何なる災害が発生しても、安定的に供給責任を果たすことで、沢山のお客様の製品や機械等も安定供給され、引いては社会や経済の発展に多大な貢献ができることを強く自覚して生産活動に拍車をかけてまいりたいと思っております。

勿論、今回の大震災により、日本企業が生産拠点を海外にシフトしたり、お客様が購入を日本メーカーから海外メーカーに切り替えたりという事態も起こるでしょう。しかし、このような動向があつたとしても、THKは、既に需要に即した最適地生産を進めており、全世界の工場から供給責任を果たすことができます。いかなる需要に対しても国内外の生産拠

点から納期どおりのTHK製品の供給を続けていくことは、取りも直さず日本経済の復旧に大きく貢献することになると自負しております。

## 40周年を迎えて

THKは本年4月10日で創立40周年を迎えました。これは、日頃お引き立てをいただいているお客様、ご支援をいただいている取引先、株主の皆様、そして弛まぬ努力を重ねてきた従業員の皆様のお陰であると、改めて深く感謝申し上げます。

しかし、40周年は一つの節目に過ぎません。THKには「グローバル10 21」という大きな目標があります。また、直動システムのパイオニアとして、世界中のお客様のニーズに応じて新製品を開発し、これらを提供し続けなければいけません。今回の震災による教訓として、基幹部品の供給が止まるということが、いかに大きな影響を与えるのかということがよく分かりました。幸にして当社は、グローバル展開を推し進め、全世界に生産工場を配し、世界の何処でこのような災害が発生しても、お客様の求めに応じて製品供給を絶やすことなく継続することができます。グループ社員一丸となり、企業の社会的責任を理解し、『常にお客様のお役に立つTHK』であることを誇りとして、「グローバル10 21」の実現に向けて頑張っていきたいと思います。

THK株式会社  
代表取締役社長

寺町 彰 博

